

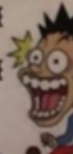


No.016 教育が変わる(1) 教育の無償化

驚き世界ランキング!

日本ってこんな国だったの?ほとんどが最低レベル。

★相対的貧困率	31位/37カ国OECD
★ジニ係数	23位/37カ国OECD
★子どもの貧困ランキング	34位(ユニセフ2016)
★一人親世帯の貧困率	33位/33カ国OECD
★教育機関への公的支出	32位/33カ国OECD
★幼児教育に対する公的支出	31位/33カ国OECD
★大学生への公的支出	33位/33カ国OECD
★一クラス当たりの生徒の数	33位/34カ国OECD
★教員の仕事時間	33位/33カ国OECD
★世界幸福度ランキング2016	53位



義務教育は無償ですが、2010年から高等学校が無償化されました。幼児教育は今年から、高等教育は来年から無償化がスタートします。

「無償化」に批判的な論調もありますが、反対というよりも、待機児童をなくすとかほかにやることがあるだろう、という意見のようです。確かにどの施策を優先するかには意見の違いはありますが、何れにしても財源を捻出して教育・保育分野の公的サービスを拡大するべきだという点においては変わりありません。

先進国では基本的に教育の無償は当然ですが、日本はOECD加盟国中、教育に対する公的支出のGDP比のランキングが最低です。そもそも将来の日本を支える子供たちへの投資こそ他の支出を削ってでも優先するべき財政支出ではないか。人口減少の深刻さを考えるとますますそうです。

だとすれば、無償と言いながら無償化の対象とされていない給食費や通学費についても、私は自治体がリードして現物支給するべきだと思います。これは首長のやる気の問題です。